

令和 8 年 4 月

関係者各位

学校法人アイピーシー学園
愛知ペット専門学校
理事長学校長 牧 良

学校関係者評価報告書の公表について

このことにつきまして、令和 8 年 3 月 26 日付けの「学校関係者評価委員会」の報告書を別添の通りまとめました。ここに、「令和 7 年度自己評価及び学校関係者評価報告書」を公表いたします。今後は、学校関係者評価委員各位のご意見やご指導を真摯に受け止め、より良い教育活動、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年度
「自己評価及び学校関係者評価報告書」

《作成日：令和 8 年 3 月 26 日》

学校法人 IPC学園

愛知ペット専門学校

1. 学校関係者評価委員会名簿

氏名	所属
里野 浩昭	株式会社エピックヴィジョン 代表取締役社長
宇野 哲安	有限会社宇野獣医科 院長
大槻 祐介	株式会社アイピーシー 事業管理部次長
川瀬 理映子	株式会社アイピーシー ペットコミュニティプラザ日進店 副係長
上 舞子	株式会社アイピーシー わんわん動物園副主任

2. 学校関係者評価委員会開催記録（概要）

令和8年3月26日（木）14：00～15：00

【議題（決定事項）】

1) 令和7年度 愛知ペット専門学校自己評価報告案について

【会議資料】資料1 令和7年度 愛知ペット専門学校 自己評価報告

【会議内容】

<開会の宣言>

（司会進行：平松）進行の挨拶、出席者の確認。1名欠席。参照資料の案内の後、開会を宣言。

<議事録・議事の概要>

（司会進行：平松）審議開始を宣言、発言の前にお名前を頂く旨を説明した。

<第1号議案の説明と審議>

（牧学校長）資料1の自己評価報告案について説明。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

上記項目の説明、自己評価に基づき、重点課題及び改善方策案について説明した。

（牧学校長）委員各位よりご指導ご意見を伺い、また質疑応答で異議なしとのことから、本報告案を報告することで決議した。

（司会進行：平松）閉会を宣言。

3. 【評価項目の自己評価結果、課題及び改善方策】（評価：適切 4、ほぼ適切 3、やや不適切 2、不適切 1）

(1) 教育理念・目標		評価
1	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
(2) 学校運営		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事・給与に関する制度は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
(3) 教育活動		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定に基準は明確になっているか	4
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	教員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(4) 学修成果		評価
1	就職率の向上は図られているか	3
2	資格取得率の向上は図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
(5) 学生支援		評価
1	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
4	学生の生活環境への支援は行われているか	4
5	保護者と適切に連携しているか	4
6	卒業生への支援体制はあるか	4
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
8	企業との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
(6) 教育環境		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4
(7) 学生の受け入れ募集		評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
(8) 財務		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
(9) 法令等の遵守		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
(10) 社会貢献・地域貢献		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練（職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

評価：適切 4、ほぼ適切 3、やや不適切 2、不適切 1

【自己評価結果・課題及び改善方策】

・自己評価結果

概ねの項目で、「適切」もしくは「ほぼ適切」と評価した。

・課題と改善方策

①教育理念・目標

愛玩動物看護学科の第1期生が卒業し、来年度からは職業実践専門課程が全4学科となる。

各学科の業界ニーズに即した育成人材像を再定義し、企業連携の強化や実習の質的向上により教育内容の充実を進める。

②教育活動

全科で単位制への移行準備とカリキュラム見直しを実施し、技能育成に一定の成果が見られた。

授業時間配分や構成の課題が明らかになったことから、次年度は全科目で授業設計の改善を図る。

③学修成果

就職率96%を維持したが、地元で就職活動を行う学生の増加により支援体制の課題が明確となった。

次年度は地元就職先の開拓やオンライン支援など、個別状況に応じた支援強化を図る。

④社会貢献・地域貢献

全国初となるペット同行避難支援協定を3月18日に締結し、地域防災に大きく貢献した。

今後は行政連携や訓練、周知活動を進め、災害時の安心確保に向けた体制づくりを推進する。

4. 学校関係者評価委員意見等および特記事項

・特に問題なく進められている、と一致したご意見をいただいた。

以上